

ISO/TC123 国際会議出席報告書

報告者：日本機械学会 ISO/TC123 平軸受国内委員会委員 三原 雄司

1. 会議名：ISO/TC123

2. 開催地(場所)：Hannover Germany

Crowne PLAZA Hotel FESTR AUM1 室

3. 開催日：2008 年 6 月 6 日(金) 13:00～16:00

4. 出席者：

Dr. Klaus Pucher(Wieland-WERKE) AG

Mr. Klaus Deicke (GLEITLAGER)

Manfred Häuser (Federal Mogul)

Albert Schmitz (RENK)

Manfred Hukker(RENK)

Gunnar Hanschke(DIN)

Geoffrey Senior(GGB)

KIM CHOONG HYUN, Ph. D (Korea Institute of Science and Technology)

染谷常雄(東大)、山本隆司(東京農工大)、田中正(大同メタル工業)、岡本裕(大同メタル工業)、
花橋実(大同メタル工業)、洪秀明(大豊工業)、山田実(大豊工業)、三和高明(オイレス工業)、
三原雄司(武蔵工業大学)

Dr. Rainer Aufischer (MIBA)

P メンバー国：

日本 9 名

ドイツ 6 名

イギリス 1 名

韓国 1 名

O メンバー国：

オーストリア 1 名

議長：Tsuneo Someya

幹事：Takashi Yamamoto

幹事国：日本

5. 配布資料

(1)Agenda, (2)Report of the secretariat, (3)Standards for Discussion, (4)Status of Liaisons, (5)Appointment of SC Chairmen, (6)Business plan, (7)Request for Cooperation

6. 主要な確認・審議・決議事項等

Agenda 1 Opening of the meeting

染谷議長から ISO/TC123 会議開催にあたっての挨拶があった。

Agenda 2 Roll call for delegate

出席者のリストが回付され、前 SC6 会議からの出席者メンバーであるため、自己紹介は省略された。

Agenda 3 Adoption of the agenda

アジェンダの内容(配布資料(1))の確認を行い、これを承認した。

Agenda 4 Appointment of the drafting committee

染谷議長より決議及び議事録(案)の作成のため起草委員会として、Senior 氏と山本幹事を任命したい旨の提案があり承認された。

Agenda 5 Report of the Secretariat

1) 山本幹事から、配布資料(2)に基づいて、ISO/TC123 の組織が報告された。議長:染谷常雄、事務局:山本隆司、幹事国:日本

構成メンバー(Pメンバー) 9カ国 : AENOR (Spain)、AFNOR (France)、BSI (United Kingdom)、DIN (Germany)、GOST R (Russian Federation)、JISC (Japan)、KATS (Korea, Republic of)、SABS (South Africa)、SAC (China)

(Oメンバー) 25カ国 : ABNT (Brazil)、ANSI (USA)、ASRO (Romania)、BELST (Belarus)、BIS (India)、BPS (Philippines)、BSN (Indonesia)、CNI (Czech Republic)、CSK (Korea, Dem. P. Rep. of)、DGN (Mexico)、ELOT (Greece)、INN (Chile)、INNORPI (Tunisia)、ISIRI (Iran, Islamic Republic of)、ISS (Serbia)、MSZT (Hungary)、NBN(Belgium)、NC (Cuba)、NSAI (Ireland)、ON (Austria)、PKN (Poland)、SIS (Sweden)、SUTN (Slovakia)、TSE (Turkey)、UNI (Italy)。

* 新たに NBN(Belgium)が加わったことが報告された。

Agenda 6. Reallocation of work items (ISO 4384-2:1982, ISO 4385:1981, ISO 4386-2:1982)

Doc. ISO/TC 123 N 1003

上記 ISO の適切な移管先 SC の理由の説明があり、TC123 から SC2 への移管が承認された。

Agenda 7. Review of liaisons Doc.ISO/TC 123 N 1004

ISO/TC123 のリエゾン先が提示され(配布資料 4)、現状に対し変更しないことが確認された。

Agenda 8. Approval of appointments of SC chairmen

各 SC の議長の任命があった。新任の 2 名に関しては、履歴書が回付され、確認された。任命された議長は下記の通り。

SC2: Mr. Klaus Deicke	期間 2008-01-01 to 2013-12-31 (新任)
SC3: Mr. Manfred Hukker	期間 2008-01-01 to 2010-12-31 (任期延長)
SC5: Mr. Manfred Häuser	期間 2008-01-01 to 2013-12-31 (新任)

なお、Mr.Deicke 氏は 2011 年で退職となるため、2010 年末までの期間に変更してほしいとの申し出があったが、今回任期は上記のままとする事とされた。

Adenda 9 Report from ISO/TC 123 / SCs

SC 2, SC 3, SC 5, SC 6 の Hannover 会議で決定した各 SC の議事録が説明され、承認された。

Agenda 10 Systematic review of ISO 6280: 1981

ISO6280は次回の定期見直しで内容の改廃の審議をすることに決定。このため,TC123で継続して管理。

Agenda 11 . Review of Business Plan

TC123 のビジネスプランは改正する事となり、TC123 幹事国が次回のTC123会議までに改定案を作成する事となった。このため、すべての TC123 メンバーに改正内容に関する情報の収集や提供に関する協力を依頼した。特に生産量などはデータが古く、この数字を明確にするために各国の生産量の調査を依頼した。(資料 6) これに関し、G. Senior 氏から資料提供の申し出があり、受け入れられた。

Agenda 12. Activation of TC 123 and its SCs

TC123 の活性化を要求した文書(配布資料 7;O メンバーに対し P メンバーへの変更要請や、TC123 の活動に対してメンバー国はより積極的に国際会議に参加して規格作成へ参加するよう要請)の内容を確認し、この文書を TC123 及び各 SC 幹事から P,O メンバー国へ回付することが決定した。内容に関しての本会議参加各国のコメント等は7月末までに TC123 幹事に送付することになった。

Agenda13. Work items on which no progress is being made - Status and action to be taken

染谷議長からとくに存在しないことが報告された。

Agenda14. Items for future work

染谷議長から参加者に有無の確認を取った。とくに無し。

Agenda15. Requirements concerning a subsequent meeting

6月17,18,19日に東京で開催されることになった。ただし、日程詳細はホスト国の日本の都合によってこの1週間前に変更される場合があることが確認・承認された。

Agenda16. Any other business

染谷議長から参加者に有無の確認を取った。とくに無し。

Agenda17. Approval of resolutions

決議案(Resolutions taken at the meeting of ISO/TC 123

"Plain bearings" held in Hannover, Germany on 2008-06-06)が読み上げられ、異議なく承認された。

以上